全米各流派の心理療法が生で見られる！

「心理のライブラリー」動画配信サービス開始

1巻1回500円の安価で

料金支払い方法も簡便に

スキルアップに有用

認知行動療法も学習

「会員」なら5台同時視聴

最新情報取得に優先資格

カウンセリング技術を習得

第一人者の実践場面、世界初

海外の精神医学・心理療法についての多彩な情報や日米臨床家の交流の場などを提供しているJIP日本心理療法研究所が、APA（アメリカ心理学会）の協力を得て、4月15日からインターネットを通じた一部教材の動画配信サービスを開始した。その名も「カウンセリング学習サイト心理eライブラリー動画配信サービス」（http://shinri-e.com）。これにより1タイトル500円という安価で、全米の各流派を代表する心理療法家の生のセッションが学習できる。その概要を岩本令子・同研究所代表に聞いた。

JIP　日本心理療法研究所
岩本　令子代表

6歳の児童とのプレイセラピー（第1巻）

JIP日本心理療法研究所は、これまでVHSとDVDによる心理療法のメディア教材を提供してきた。すでに日本全国の臨床心理士指定大学院の約8割で、同研究所提供のメディア教材が使用されている。

APA協力

「研究所の最大の活動目的は、各流派・学派にとらわれない情報を幅広く提供すること。今回の動画配信サービスでも、米国の多様な流派の第一人者によるカウンセリングの実践場面を収録した映像を提供します。第1回の配信内容は、APA心理療法ビデオシリーズI『問題別アプローチ編全12巻』で、各巻のタイトルは別記（下段参照）のとおりです。本サービスでなかなか見ることのできない実際の臨床現場に触れ、各理論を学習してより多くの選択肢を持ち、カウンセリング技術の向上に役立ててほしい」と岩本代表は語る。

APA心理療法メディア教材の動画配信システムは世界で初めて。本事業の展開は、米国で16万人の会員を擁する世界最大規模の心理学系学術団体APAが協力して実現した。

第1回配信コンテンツ

APA心理療法シリーズ
問題別アプローチ編　全12巻

- 6歳の児童とのプレイセラピー
- 行為障害の子どもとのゲームとお話を使った心理療法
- 思春期の子どもとの実際的な心理療法
- トラウマ治療のためのEMDR
- 衝動的問題に対するエリクソン派の催眠療法
- パニック障害に対する認知療法
- 境界例人格に対する認知療法
- 嗜癖の認知行動的再発防止療法
- 強迫神経症に対する行動療法
- 受動的攻撃的人格障害への対人間構成療法
- 婚外交渉についての夫婦面接
- 身体的な健康問題を抱える患者との家族療法

「APAは、米国のあらゆる流派・学派を取りまとめている組織です。そのAPAが作成した心理療法ビデオシリーズの日本語版を、一般個人の方々へも何とか安価で提供したいという願いから、このサービスが誕生しました」

第1回配信の全12巻は、ビデオで1セット購入すると42万円。それが動画配信サービスでは、1タイトル（1巻）を1回わずか500円で視聴できる。

「動画配信はストリーミング（Streaming）方式。ストリーミングとは、インターネットのネットワークを通じて、映像や音声などのマルチメディアデータを視聴する際にデータを受信しながら同時に再生を行う方式のことです。この方式のアプリケーションを使うことにより、リアルタイムの再生が24時間可能になります」

料金の支払い方法が簡単なことも魅力の一つ。コンビニエンスストアーなどで購入できるウェブマネーが特に便利だ。

「ウェブマネーは、インターネットの画面上でウェブマネー（クレジット）決済を選択していただいても、そのままますぐに使えます。もちろん郵便為替、銀行振り込み、クレジットカード決済もOKです。またアカデミー会員として契約していただければ、年会費7万350円でパスワードを5個取得でき、1年間いつでもどこでも同時に5台のパソコンで視聴することが可能です。パスワードは契約者の方の自主管理ですので、貸し出しも自由。学生さんが自宅のパソコンで視聴するなど、契約機関の関係者が他所で視聴しても問題ありません」

アカデミー会員は、教育、医療、行政、福祉機関などの各種機関・団体のほか、個人でも契約できる。しかも会員になれば、各タイトルの日本語版逐語録のダウンロードが無料でできる。APAジャーナル・トピックスの日本語翻訳版の閲覧に加え（今年12月以降を予定）、APAが日本で企画する催しに優先参加できるという特典付きだ。

「7月初めには、APA出版部代表のガリー・ヴァンデンボス博士の来日を予定しており、APAスタイルのワークショップの日本開催について話し合います。今後は日本で年2回、APAスタイルの講演会やワークショップを開催する計画。アカデミー会員の方には、これら最新情報が得られる企画に、優先的に参加できる資格が与えられます」

そもそも心理療法の現場では、クライアントのプライバシーと安心・安全を確保するため、カウンセリングは個室で行う。治療者側には、原則的に守秘義務が課せられる。

「ですから、その密室に第三者が立ち会うことはなかなかできません。しかしカウンセリング技術の習得には、百聞は一見に如かずで、臨床現場で実地に学習するのが一番。米国では教育とインターンシップだけでも5年を要し、開業するとなれば診療の傍ら博士号を取得するなど10年はかかる道のりです。ところが日本では、そんな現場での学習の機会がまだ十分に整備されておりません。動画配信システムは、そのような現状の中で、実際の場面を見てスキルアップを図りたいという方々のニーズにしっかり応えます」

この動画配信システムは、すでに臨床現場で活躍している精神科医、心理臨床家、カウンセラーの専門家の再研修教材としても有用だ。養護教諭、一般教員、看護職、ソーシャルワーカーをはじめ、企業の人事や総務を担当している管理職などにも参考になるような手法が盛り込まれている。

「今、世界の学問の潮流は、科学的根拠を重視するエビデンス・ベーストです。心理療法の中でも、そのエビデンス・ベーストとして優れている認知行動療法が注目され、再犯率が高いといわれる性犯罪の矯正プログラムにも認知行動療法を基本とする考え方が導入されるようになりました。その一方で、日本ではこの認知行動療法を実践できる専門家が多くない。動画配信サービスで今回提供するシリーズには、そんな認知療法・行動療法の技法も含まれています」

岩本代表によると、第2回からは順次配信の予定。さらにこのサービスを第一段階として、次段階では授業やセミナーなどを映像化し、日本の心理療法現場に適したハウツーものを格安で提供する新事業を思案中だという。

「日本の精神・心理学分野の方々に、できる限り安価で正確な世界の最新情報を提供する――これが私たち研究所の使命だと考えています」と岩本代表は語っている。